

## 富山県の障害者の現状について

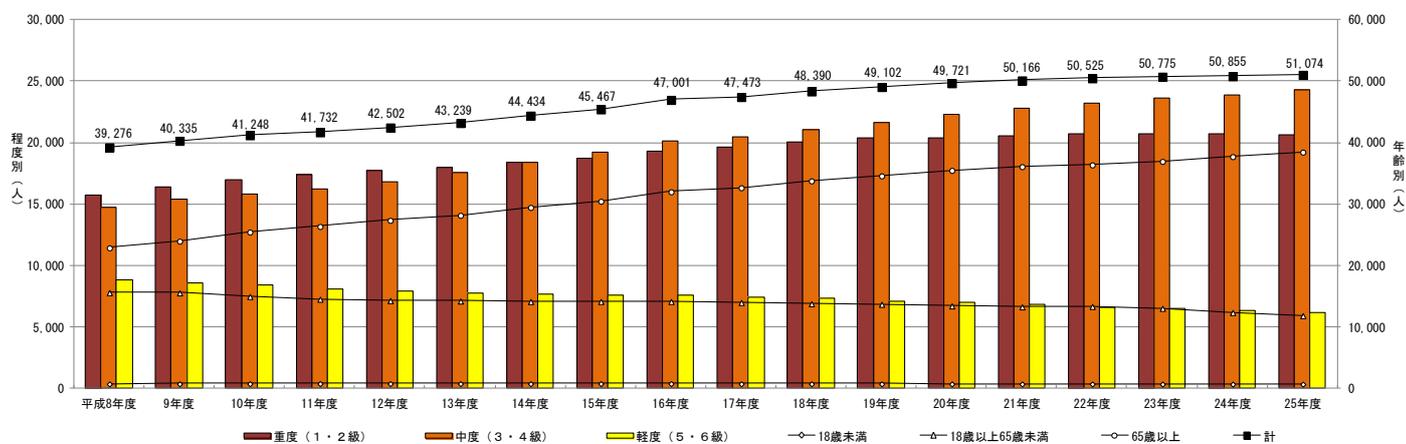
## (1) 身体障害者

身体障害者手帳を所持している人は、平成26年3月31日現在、51,074人となっており、平成8年度からの17年間で、11,798人(30%)増加しています。

障害の程度別では、重度、中度、軽度の人のおける割合がそれぞれ平成8年度の40.0%、37.5%、22.5%に対し、平成25年度には40.3%、47.6%、12.1%となっており、障害の重度化の傾向がみられます。

また、年齢階層別では、65歳以上の人の占める割合が平成8年度の58.3%に対し、平成25年度には、75.4%となっています。平成8年度からの17年間では15,588人(68%)増加しており、高齢化が進んでいます。

身体障害者手帳所持者数の推移



身体障害者手帳所持者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
程度 重度(1・2級)	15,734	16,358	16,978	17,398	17,736	17,966	18,376	18,715	19,318	19,610	20,041	20,375	20,419	20,561	20,704	20,681	20,691	20,592
程度 中度(3・4級)	14,719	15,369	15,848	16,261	16,839	17,514	18,393	19,221	20,102	20,443	21,060	21,624	22,326	22,786	23,210	23,620	23,861	24,325
程度 軽度(5・6級)	8,823	8,608	8,422	8,073	7,927	7,759	7,665	7,531	7,581	7,420	7,289	7,103	6,976	6,819	6,611	6,474	6,303	6,157
年齢 18歳未満	750	765	784	801	800	794	781	797	800	769	764	761	752	740	745	730	716	712
年齢 18歳以上65歳未満	15,618	15,578	14,985	14,542	14,318	14,245	14,163	14,173	14,170	14,011	13,812	13,713	13,451	13,298	13,365	13,059	12,377	11,866
年齢 65歳以上	22,908	23,992	25,479	26,389	27,384	28,200	29,490	30,497	32,031	32,693	33,814	34,628	35,518	36,128	36,415	36,986	37,762	38,496
計	39,276	40,335	41,248	41,732	42,502	43,239	44,434	45,467	47,001	47,473	48,390	49,102	49,721	50,166	50,525	50,775	50,855	51,074

(各年度3月31日現在)

## 平成25年度障害別・等級別の状況

(単位:人)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚障害	993	782	232	254	393	300	2,954
聴覚障害	272	988	566	835	8	1,969	4,638
平衡機能障害	1	8	32	0	29	0	70
音声・言語・そしやく機能障害	9	17	231	206	0	0	463
肢体不自由	4,572	5,290	5,823	7,972	2,273	1,185	27,115
内部障害	7,350	310	4,955	3,219	0	0	15,834
計	13,197	7,395	11,839	12,486	2,703	3,454	51,074

(平成26年3月31日現在)

## (2) 知的障害者

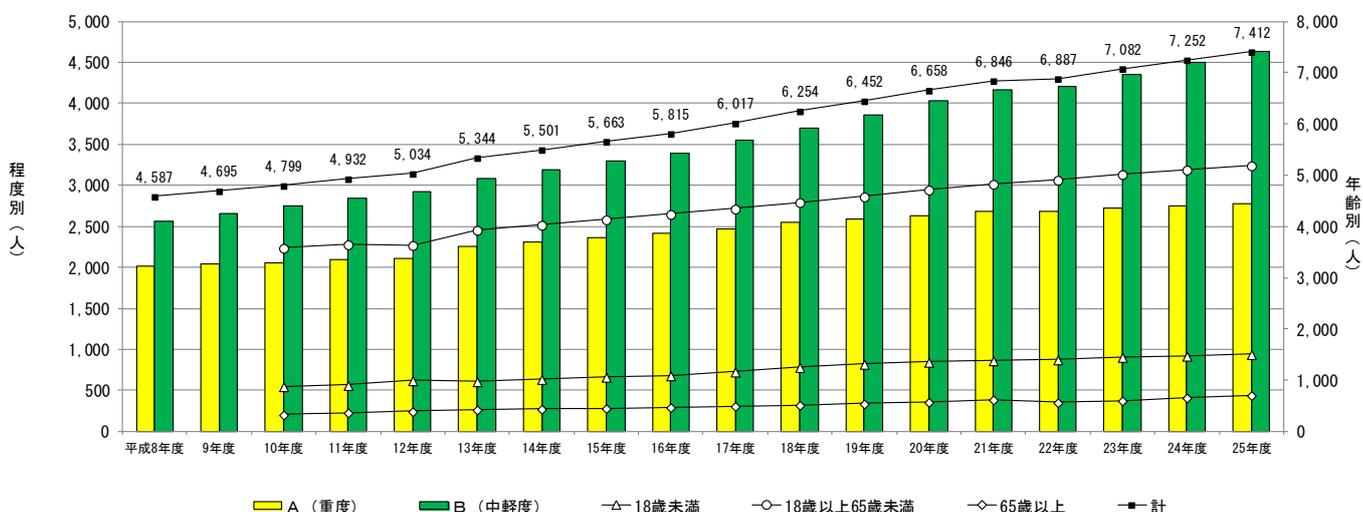
療育手帳を所持している人は、平成26年3月31日現在、7,412人となっており、平成8年度からの17年間で、2,825人(61.6%)増加しています。

障害の程度別では、重度、中軽度の人の占める割合がそれぞれ平成8年度の44.0%、56.0%に対し、平成25年度は37.4%、62.6%となっており、近年では中軽度の増え方が大きくなっています。

また、年齢階層別では、65歳以上の人の占める割合は9.6%となっており、比較可能な平成10年度からの15年間では378人(113.9%)増加しています。

なお、知的障害者実態調査(療育手帳を所持していない人を含む5年毎の調査)によれば、知的障害者の総数は、平成22年7月1日現在、6,885人となっており、また、居所の状況は、自宅(施設・事業所の通所を含む)が4,555人(66.2%)で最も多く、次いで入所施設が1,625人(23.6%)、グループホーム・住込・寮等が271人(4.0%)、精神科病院入院が251人(3.6%)などとなっています。

療育手帳所持者数の推移



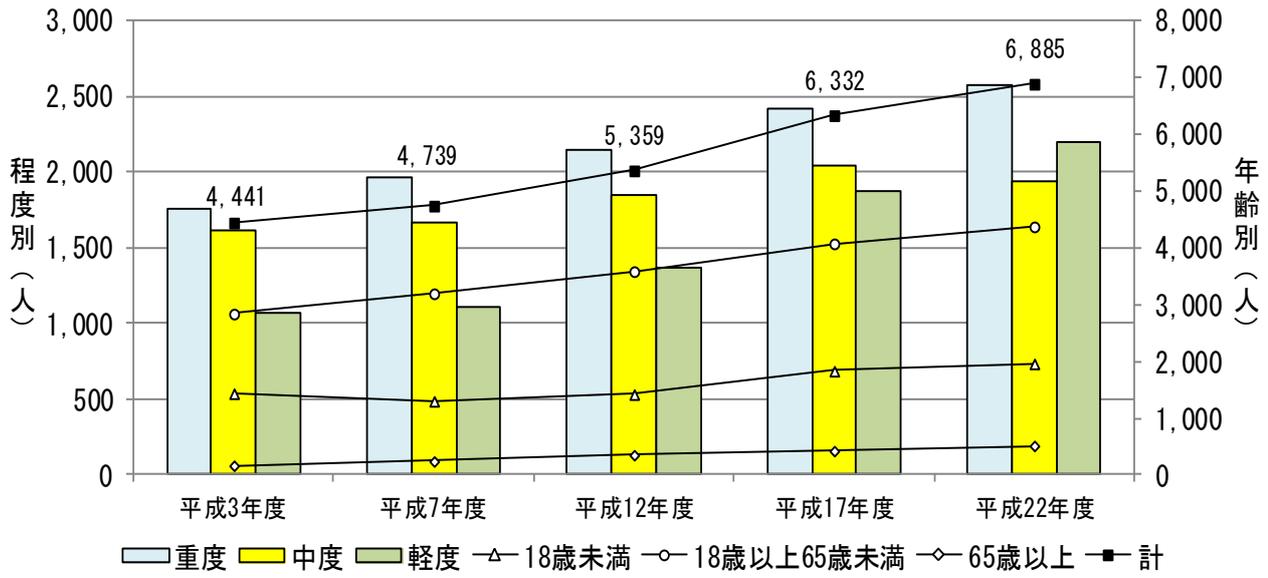
療育手帳所持者数の推移

(単位:人)

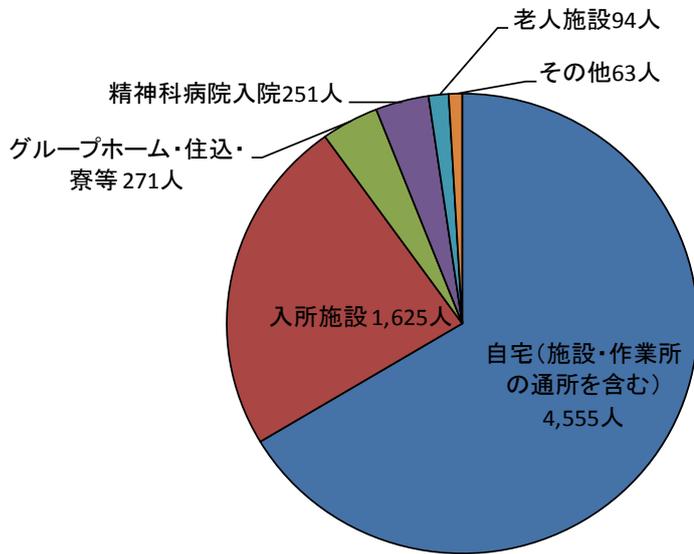
区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
程度別																		
A(重度)	2,017	2,042	2,054	2,093	2,115	2,256	2,306	2,368	2,423	2,466	2,550	2,593	2,625	2,679	2,680	2,724	2,749	2,775
B(中軽度)	2,570	2,653	2,745	2,839	2,919	3,088	3,195	3,295	3,392	3,551	3,704	3,859	4,033	4,167	4,207	4,358	4,503	4,637
年齢別																		
18歳未満			883	907	999	980	1,024	1,067	1,095	1,169	1,258	1,320	1,359	1,388	1,405	1,454	1,478	1,510
18歳以上65歳未満			3,584	3,653	3,639	3,935	4,033	4,139	4,244	4,349	4,476	4,586	4,720	4,832	4,912	5,022	5,111	5,192
65歳以上			332	372	396	429	444	457	476	499	520	546	579	626	570	606	663	710
計	4,587	4,695	4,799	4,932	5,034	5,344	5,501	5,663	5,815	6,017	6,254	6,452	6,658	6,846	6,887	7,082	7,252	7,412

(各年度3月31日現在)

### 知的障害者総数の推移（知的障害者実態調査）



### 居住の状況（平成22年度知的障害者実態調査）

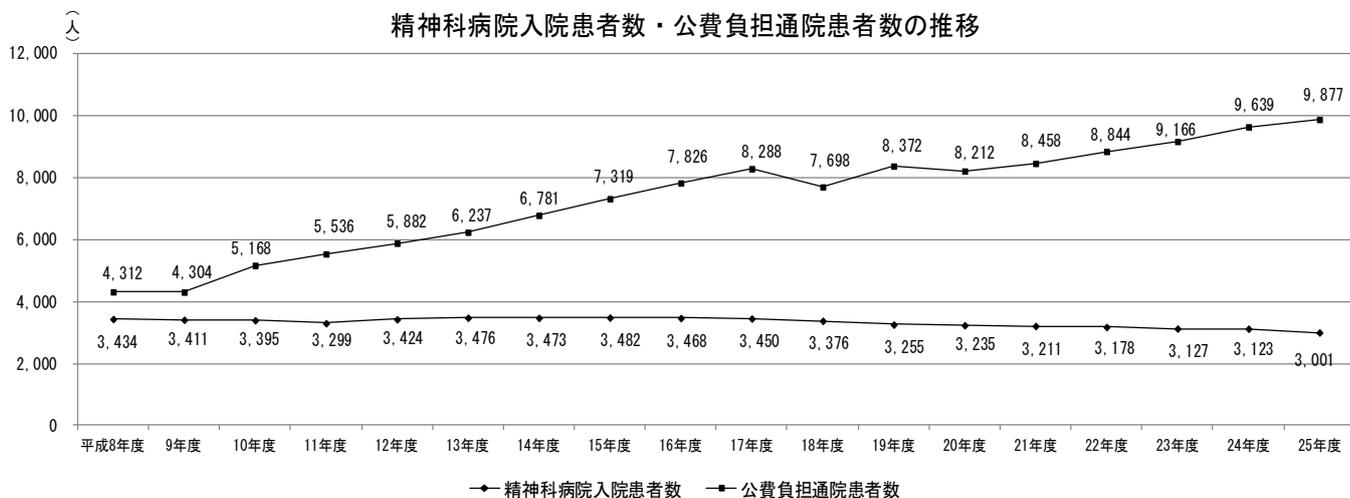


（平成22年7月1日現在）

### (3) 精神障害者

精神障害者については、医療機関の利用状況からみると、平成25年6月30日現在、入院患者数が3,001人、医療費を公費で負担している通院患者数が9,877人となっています。

入院患者数は、平成8年度の3,434人から平成25年度の3,001人と減少しているのに対し、公費負担通院患者数は平成8年度の4,312人から平成25年度の9,877人と大きく増加しています。



精神科病院入院患者数・公費負担通院患者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
精神科病院入院患者数	3,434	3,411	3,395	3,299	3,424	3,476	3,473	3,482	3,468	3,450	3,376	3,255	3,235	3,211	3,178	3,127	3,123	3,001
公費負担通院患者数	4,312	4,304	5,168	5,536	5,882	6,237	6,781	7,319	7,826	8,288	7,698	8,372	8,212	8,458	8,844	9,166	9,639	9,877

(各年度6月30日現在)

精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1級	213	244	281	290	294	312	335	376	400	390	397	359	366	386	394	443	434	447
2級	307	374	463	582	736	834	999	1,158	1,302	1,559	1,645	1,834	2,163	2,422	2,717	3,028	3,215	3,407
3級	125	153	186	217	225	249	317	381	451	516	519	528	573	623	672	750	879	1,034
計	645	771	930	1,089	1,255	1,395	1,651	1,915	2,153	2,465	2,561	2,721	3,102	3,431	3,783	4,221	4,528	4,888

(各年度3月31日現在)

#### (4) 発達障害

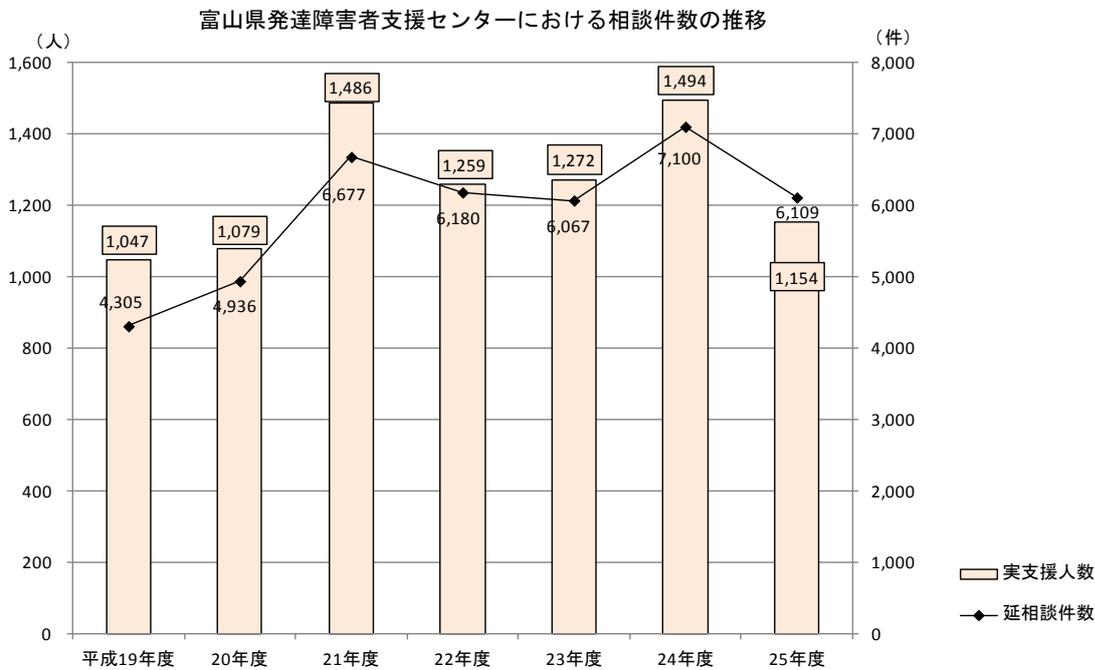
発達障害児（者）数については、知的障害や精神障害の手帳を所持している人もいますが、発達障害であることに着目して手帳の対象となっているわけではないため、その正確な人数は把握できていません。

文部科学省が平成24年度に報告した調査結果（「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」）によると、全国の公立小中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、約6.5%程度であるとされています。

本県において、平成24年度に市町村が実施した1歳6か月児健診又は3歳児健診を受診した乳幼児のうち、言語や行動等の面で経過を見る必要があるとされた児童は2,666名であり、総受診者数の約16.4%となっています。

また、県が実施した保育所や幼稚園を対象としたアンケート調査では、平成24年10月1日現在で在籍している児童のうち、①発達障害の診断を受けている児童や、②多動で落ち着きがないなどの行動が顕著だと保育士等が感じている児童は合わせて3,005名であり、在籍児童数の約8.9%となっています。

本県では、発達障害者等に対し相談等の支援を行う発達障害者支援センターを設置しており、平成25年度の実支援人数は1,154人であり、延相談件数は6,109件となっています。



富山県発達障害者支援センターにおける相談件数の推移

事業内容	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	実支援人数	延相談件数												
就労支援	53	857	55	1,024	62	909	45	425	47	419	48	1,016	40	224
相談支援	702	3,216	728	3,742	1,165	5,521	1,049	5,500	1,059	5,457	1,246	5,860		
発達支援	292	232	296	170	259	247	165	255	166	191	200	224	1,114	5,885
計	1,047	4,305	1,079	4,936	1,486	6,677	1,259	6,180	1,272	6,067	1,494	7,100		

(各年度3月31日現在)

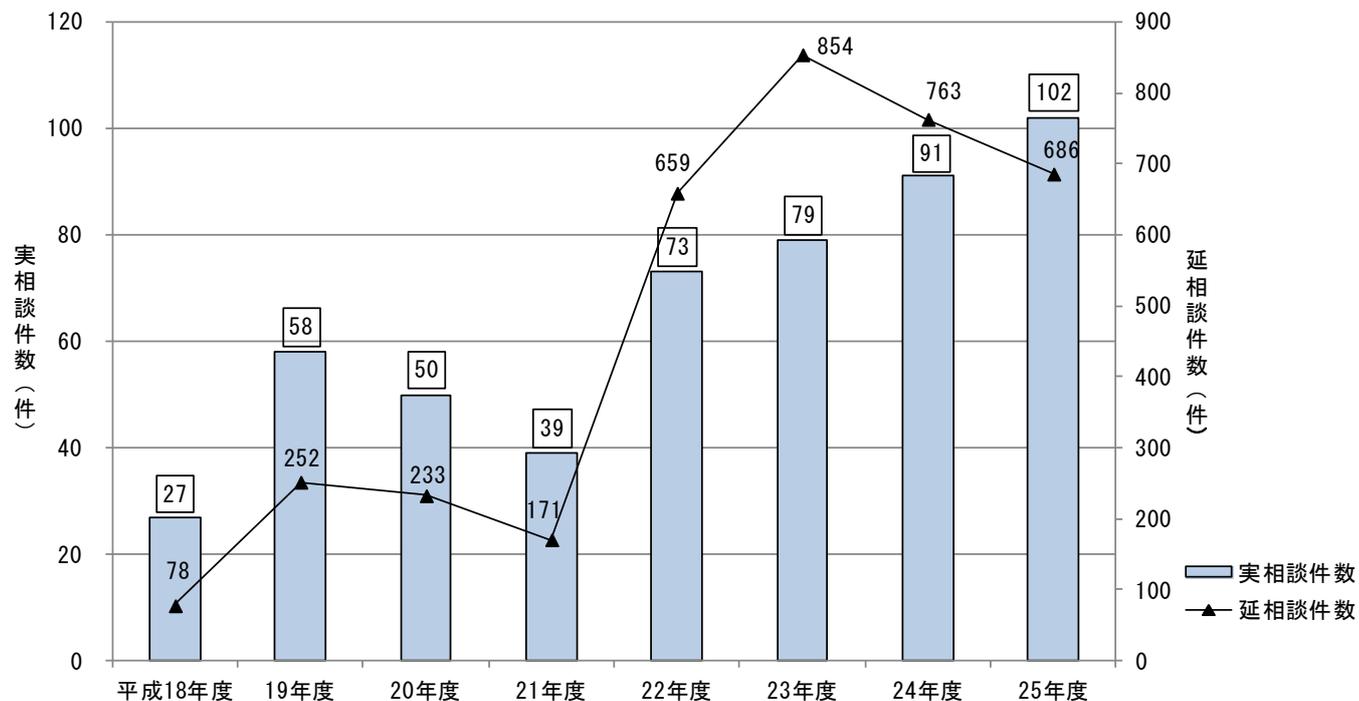
※H25年度より厚生労働省への実施状況報告の内容等が変更されたことより「①相談支援・発達支援」「②相談支援・就労支援」(就労支援に重点を置いた支援が行われたケース)の2区分により集計。

### (5) 高次脳機能障害

高次脳機能障害は、交通事故や病気等で脳に障害を受けたことが原因で、注意力や記憶が低下したり、感情のコントロールが難しくなるなどの症状が現れる障害ですが、症状の内容や程度も多様であることから、正確な障害者数の把握はできていません。

本県では、障害当事者やその家族に対する専門的な支援等を目的として、富山県高次脳機能障害支援センターを設置しています。平成25年度の実相談件数は102件であり、延相談件数は686件となっています。

富山県高次脳機能障害支援センターにおける相談件数の推移



富山県高次脳機能障害支援センターにおける相談件数の推移

	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
実相談件数	27	58	50	39	73	79	91	102
延相談件数	78	252	233	171	659	854	763	686

※なお、平成18年度は平成19年1月から3月までの3ヶ月間の実績

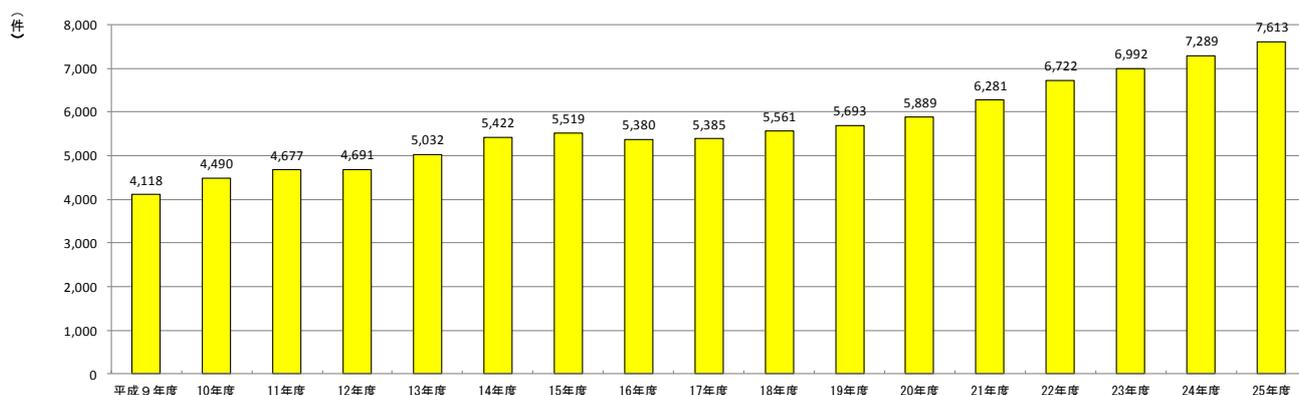
(各年度3月31日現在)

## (6) 難病

原因が不明で、治療方法が未確立であり、かつ後遺症を残すおそれが少なくない、いわゆる難病患者のうち、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額である特定疾患に罹患した患者に対し、医療費の公費助成を行っています。特定疾患医療受給者証を交付している件数は、平成25年度は7,613件となっています。

平成25年4月より障害者総合支援法のサービスの対象に難病等が加わり、当面の措置として130疾患が対象となっています。

特定疾患医療受給者証交付件数の推移



平成25年度特定疾患病名一覧及び受給者証交付件数

疾病番号	疾患名	交付件数	疾病番号	疾患名	交付件数
01	ベーチェット病	150	30	広範脊柱管狭窄症	31
02	多発性硬化症	181	31	原発性胆汁性肝硬変	363
03	重症筋無力症	189	32	重症急性膵炎	29
04	全身性エリテマトーデス	540	33	特発性大腿骨頭壊死症	74
05	スモン	14	34	混合性結合組織病	94
06	再生不良性貧血	91	35	原発性免疫不全症候群	18
07	サルコイドーシス	204	36	特発性間質性肺炎	45
08	筋萎縮性側索硬化症	85	37	網膜色素変性症	219
09	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	481	38	プリオン病	6
10	特発性血小板減少性紫斑病	176	39	原発性肺高血圧症	27
11	結節性動脈周囲炎	86	40	神経線維腫症	31
12	潰瘍性大腸炎	1,102	41	亜急性硬化性全脳炎	0
13	大動脈炎症候群	52	42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2
14	ビュルガー病	60	43	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	25
15	天疱瘡	59	44	ライソゾーム病(ファブリー病含)	4
16	脊髄小脳変性症	291	45	副腎白質ジストロフィー	2
17	クローン病	365	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	47	脊髄性筋萎縮症	3
19	悪性関節リウマチ	55	48	球脊髄性筋萎縮症	19
20	パーキンソン病関連疾患	1,102	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	36
21	アミロイドーシス	22	50	肥大型心筋症	20
22	後縦靭帯骨化症	410	51	拘束型心筋症	1
23	ハンチントン病	10	52	ミトコンドリア病	19
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	146	53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	4
25	ウェゲナー肉芽腫症	14	54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	2
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	223	55	黄色靭帯骨化症	71
27	多系統萎縮症	173	56	間脳下垂体機能障害	163
28	表皮水泡症 (接合部型及び栄養障害型)	6			
29	膿疱性乾癬	17		計	7,613

(平成26年3月31日現在)